

◇だいぶ以前の話ですが、白洲正子（1910～1998）旧宅へ行ったことがあります。彼女は1942年4月の米軍艦載機による空襲を見て、小石川の家から、すでに手に入れていた南多摩郡鶴川村（現・東京都町田市）の茅葺の農家に移ります。武相荘と命名されて現在一般公開されています。白洲正子は東京生まれですが、実家は鹿児島出身の樺山伯爵家で、後に吉田茂の側近となった白洲次郎と1929年に19歳で結婚した女性です。私は、4歳から能を学んだという彼女の優れた審美眼に以前から興味がありました。

その武相荘の壁にさりげなく掛けられていた「日々」という書を見て、私は「アッ」と思いました。まるで小学生が無心に力いっぱい書いたような字なのです。うまく書こうとか、何かを訴えようとか、教え諭すとか、そういう計算や作為が微塵も感じられません。この書を見てみると、心がシーンとして、素直に自分自身の人生に思いをはせることができるという感じなのです。私は、この数年、妻の病氣療養に付き合ってきたので、一日一日を生きるという思いが強くなりました。

この書の作者は臨済宗中興の祖と言われる江戸時代の僧侶、白隠禅師なのですが、白洲正子がなぜ、この素朴な書を身近に置いたのか、わかる気がしました。

◇さて、今、政治も経済も、そして学校も作為や計算に満ち溢れています。競争や効率が優先され、少しの余裕も許されません。心豊かで人間らしい「日々」の生活はどこに行ったのでしょうか。政治や経済の中に非人間性や悪意を感じることも少なくありません。

しかし、そうであればあるほど、逆に、まっとうで誠実な人々の思いや活動も際立って見えます。むしろ今は、両者の違いが実に見えやすい時代だと言えるかもしれません。

大切なのは、その違いをしっかりと見極めること、だまされない力を身に着ける「日々」を送ることだと思います。

◇「会員のひろば」ではニュースの内容やフォーラムの活動に対する意見、感想はもちろん、絵や写真などの作品も掲載します。同封のハガキのほかに、手紙やメールでも結構です。お気軽にお寄せください。

今後の主な予定

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 8月18日（金）～20日（日） | 教育のつどい2017 in 岡山 |
| 8月25日（金） 14時30分～ | 原発と自然エネルギー部会（フォーラム） |
| 9月1日（金） 13時～ | スタジイ楽書会（フォーラム） |
| 18時～ | わいわいフォーラム（会場未定） |
| 9月15日（金） 13時～ | スタジイ楽書会（フォーラム） |
| 9月19日（火） 12時～ | 教育相談部会（フォーラム） |
| 9月23日（土） | 近現代史ゼミフィールドワーク（太田市方面） |

育ちと学び No. 33

ぐんま教育文化フォーラム

2017年7月28日 発行

〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 群馬県教育会館3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>

